

# 横手体育館 基本設計書

【概要版】 補足資料

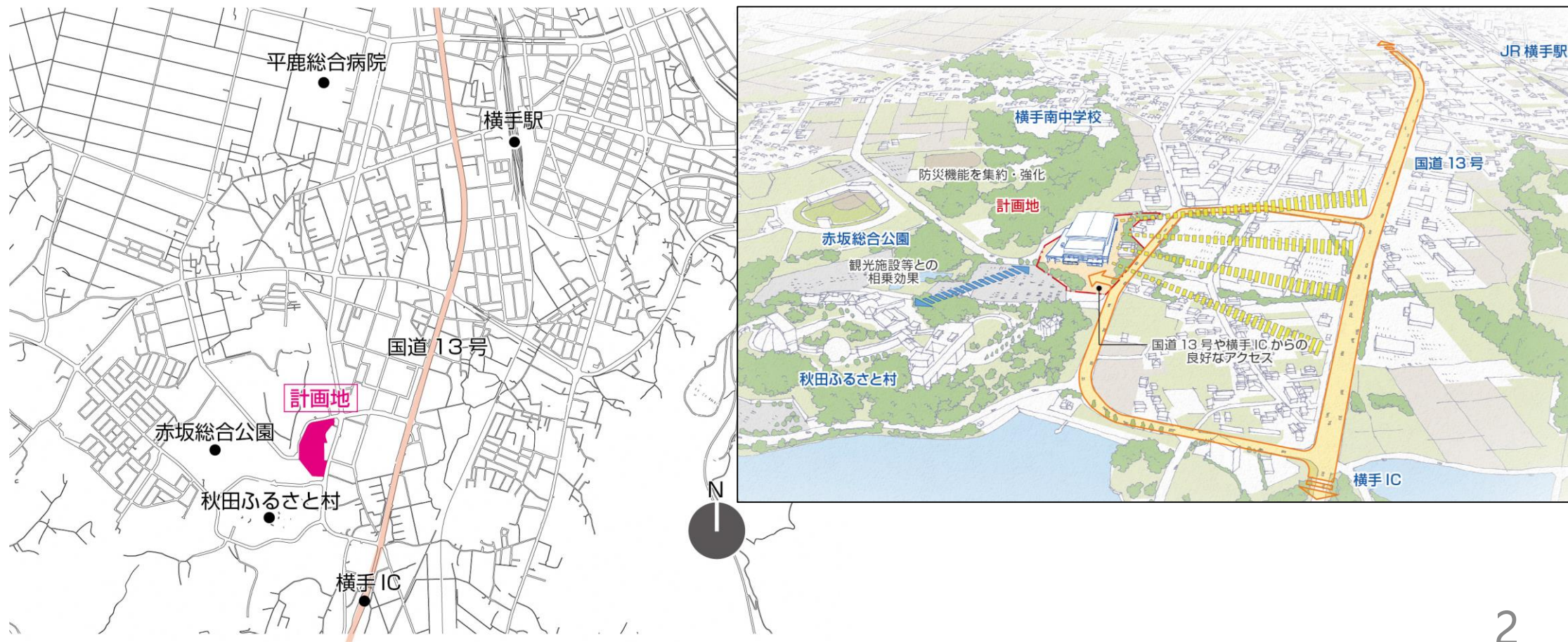
令和8年 春 オープン予定

基本設計書の内容は、より詳しい設計（実施設計）を行う中で、また、施工段階の調整の中で変更される部分もあります。  
壁の色や細かな設備・材質等は、あくまでも現段階のイメージです。

# 1. 建設場所と建物の概要

(概要版資料2ページ「1. 仕様概要書・敷地案内図」)

## ■建設場所：赤坂総合公園内（横手市赤坂字大沼沢）



(概要版資料 2 ページ「1. 仕様概要書・敷地案内図」)

## ■建物概要

延べ床面積 : 13,649.27m<sup>2</sup> (うち屋内 : 12,292.59m<sup>2</sup>)

※現施設の約3倍 (現在求められる水準に対応した必要面積)



- 現施設の課題を解決
- ・観客席数の確保
  - ・競技床面積の確保
  - ・器具庫面積の確保
  - ・空調設備等の設備関連に必要な部屋
  - ・エントランス
  - ・快適なトイレや更衣室
  - ・その他

階数 : 地上2階建て

高さ : 23.5m

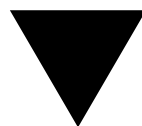
構造 : 鉄筋コンクリート造

## 2. 新しい横手体育館で目指す姿

(概要版資料3ページ「2. 計画説明書」の補足説明)

- ・ 現在、十分に対応できていない課題に対応
- ・ 市民に長く愛される施設に

基本計画の3つのコンセプトを実現（次のスライドから）



設計における施設イメージ

『**こころ と からだ、まちを動かす交流拠点**』

こころを動かす：スポーツを見る、応援する、イベント等による体験

からだを動かす：身近な運動からアスリートまで対応した利用環境

まちを動かす：スポーツやイベント等を通じた人と地域経済の活性化

## 基本計画コンセプト 1

### 市民が日常的にスポーツ活動や健康づくりに親しむことができる体育館

- ① 施設内外の様々な場所で運動ができるアリーナ
- ② 子どもから高齢者まで、全ての世代が運動を楽しめるアリーナ
- ③ 交流を促し、心と体の健康を高め合うアリーナ

※詳しくは、この後のページにある平面計画でご紹介します。

## 基本計画コンセプト2

### 様々な大会やイベントが開催され スポーツや文化の 交流拠点となる体育館

- ① スポーツの全県大会、東北大会等が開催しやすいアリーナ
- ② マーチングバンドやイベント等にも対応できるアリーナ
- ③ プロスポーツが観戦できるアリーナ
- ④ 映像配信や音響による効果を体感できるアリーナ

(概要版資料3ページ「2. 計画説明書」)

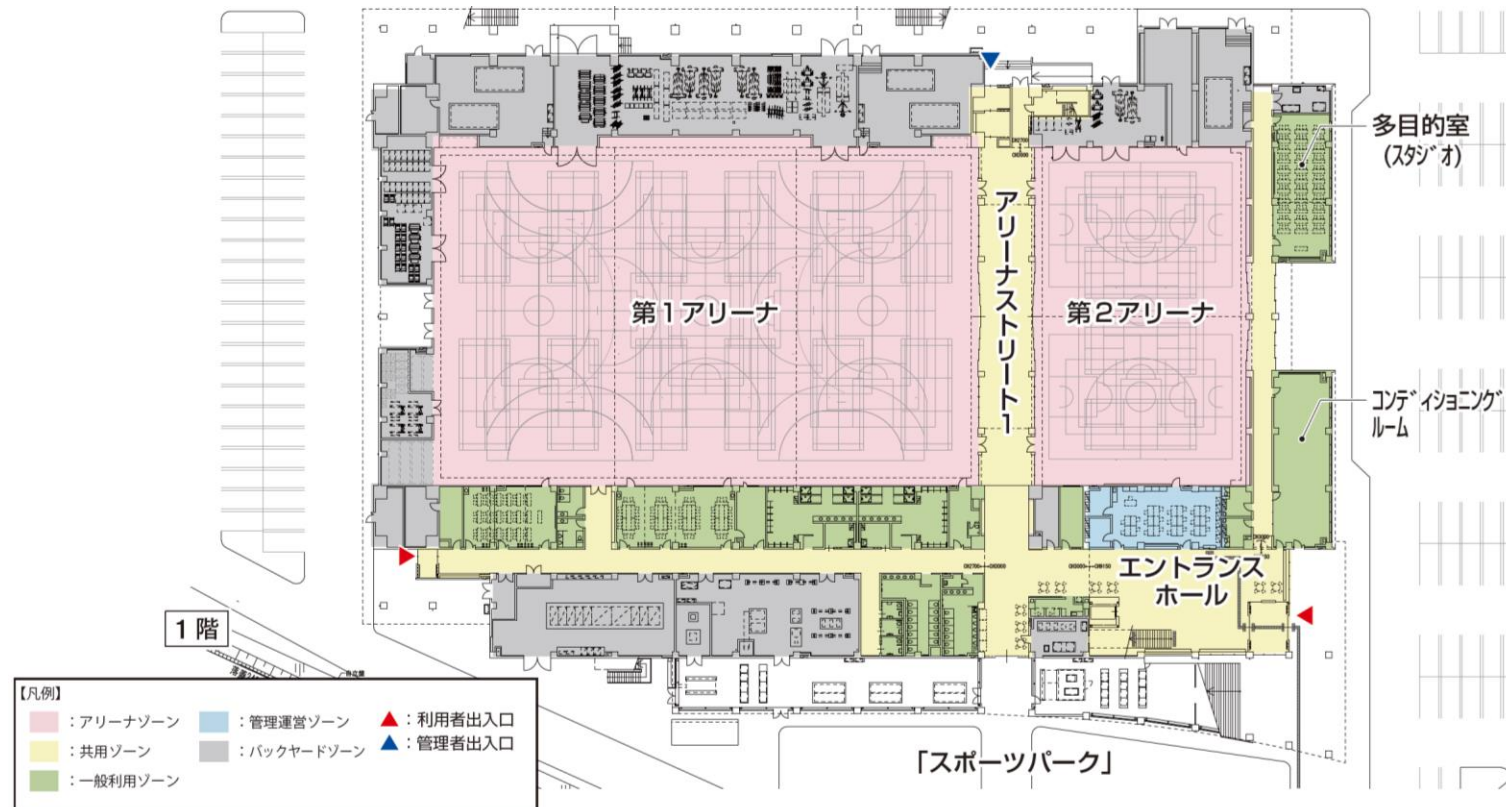
## アリーナの特徴

## 第1アリーナと第2アリーナを並べて配置

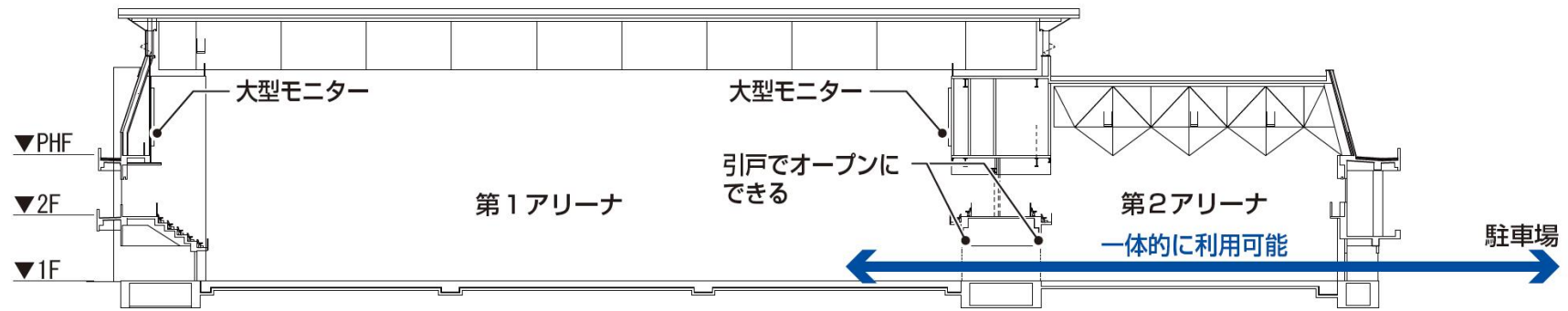
→ 第1アリーナはバスケットボールコート3つ分の広さ / 分割貸し可

## 第2アリーナを充実

→ 一般的なサブコートと異なり、バスケットボールの公式コートをとれる広さ / 分割貸し可



( 概要版資料 3 ページ「 2 . 計画説明書」 )



南北断面図






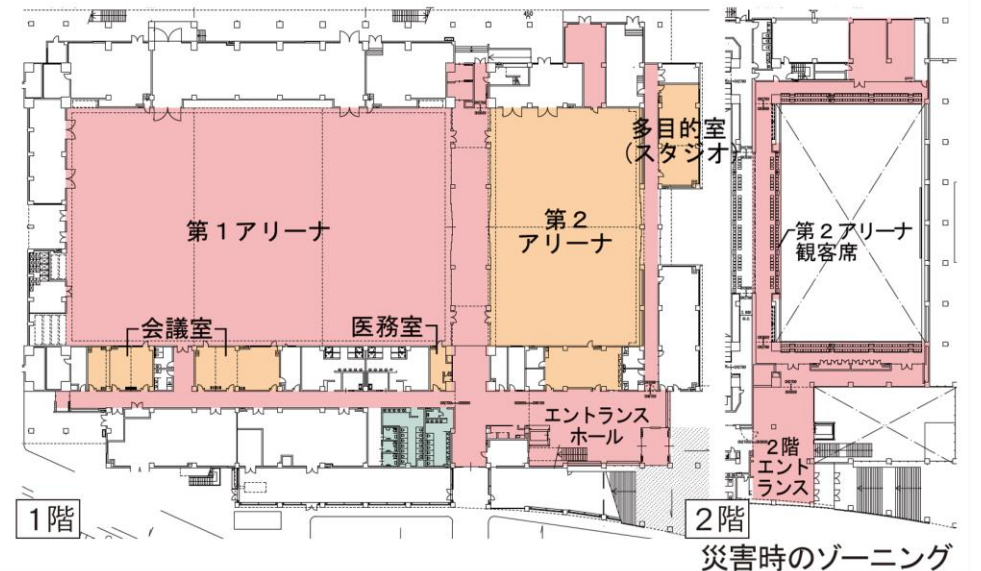


## 基本計画コンセプト3

### 災害時の防災拠点となる体育館

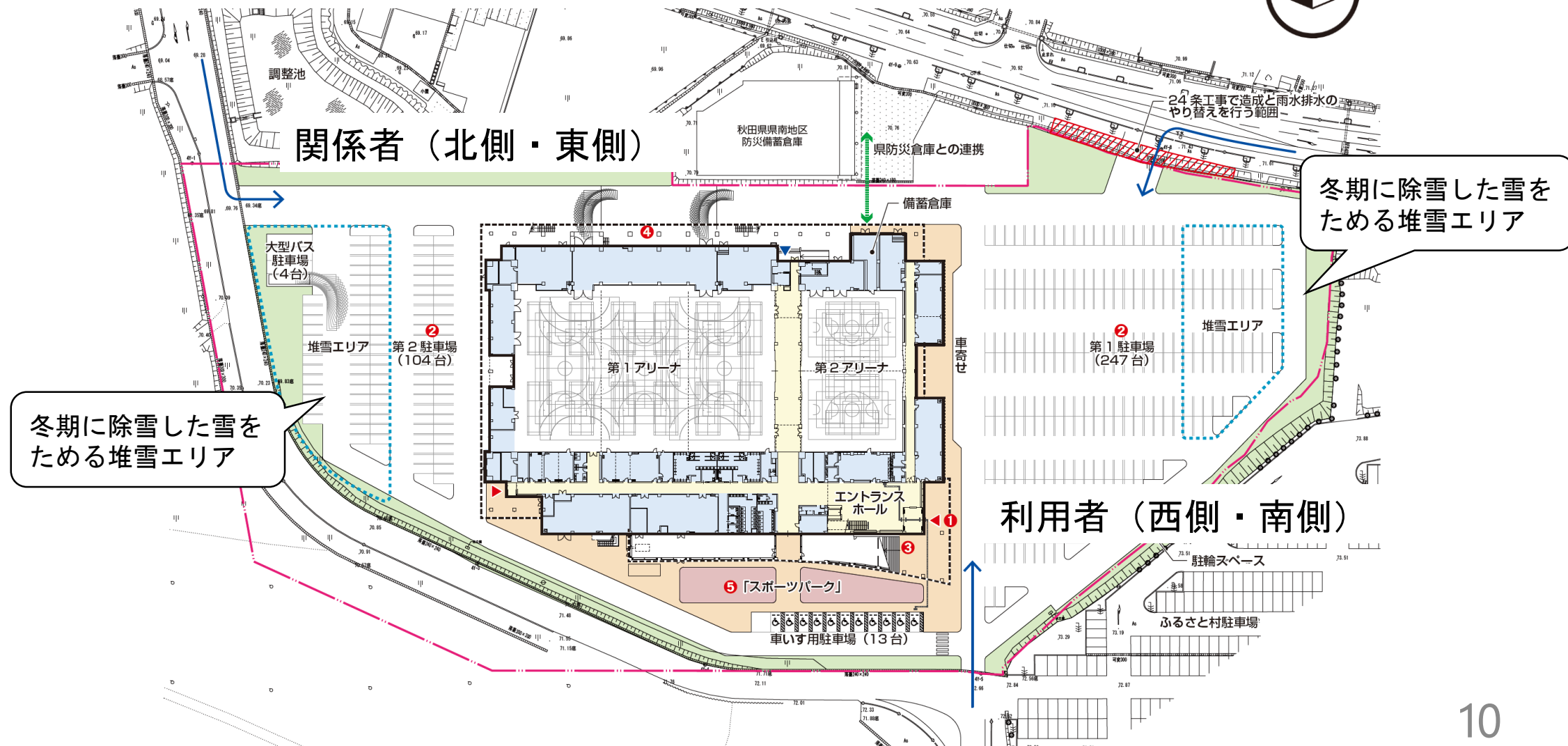
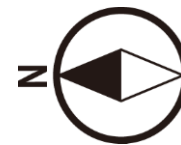
- ① 通常災害時に対応した安全・安心な指定避難所
- ② 大規模災害時に備えた広域防災拠点

凡例	
	空調有・換気有・照明1/2~1/3点灯
	換気有・照明1/2~1/3点灯
	照明1/2~1/3点灯



# 3. 配置計画

(概要版資料4ページ「3. 配置計画」)



(概要版資料4ページ「3. 配置計画」)

## ■ 駐車場 (合計で約1,000台)

①敷地内：一般 351台 (第1駐車場・南側247台、第2駐車場・北側104台)  
車いす用 13台 (第1駐車場)  
大型バス 4台 (第2駐車場) 合計368台

②グリーンスタジアムよこて北側 450台

③グリーンスタジアムよこて西側 80台 (うち車いす用2台)

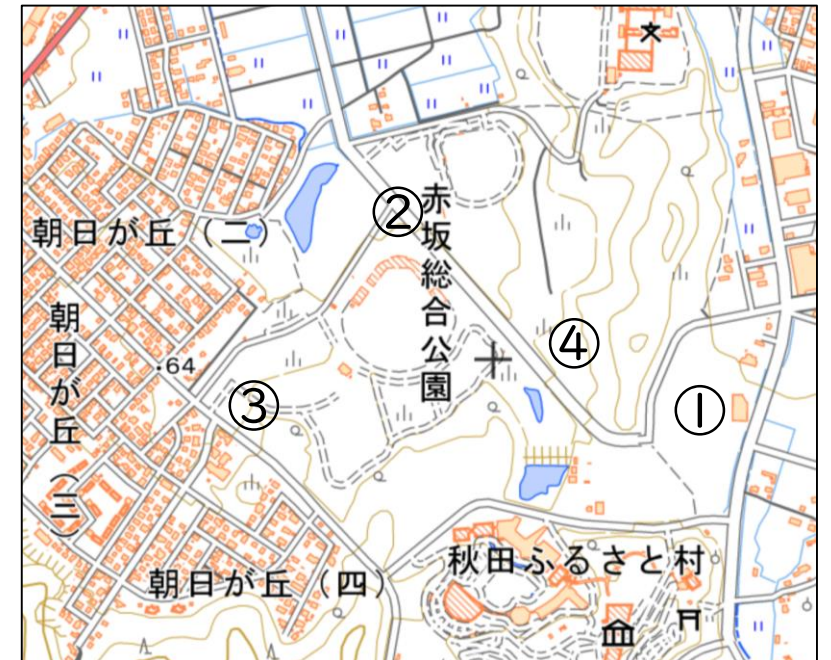
④その他 約100台

### 【連携による利用が考えられる駐車場の例】

- ・秋田ふるさと村駐車場 第1駐車場 501台 (市有地)  
第2駐車場 561台 (大型16、一般545)  
第4駐車場 500台 (大型11、一般489)
- ・新横手市民会館駐車場 約1,000台以上
- ・その他、隣接する商業施設等

## ■ 駐輪場

第1駐車場西側に十分な台数分を確保




(概要版資料4 ページ「3. 配置計画」)

## ■メインエントランス周辺（施設の南西側）の主な内容

### ① メインエントランス

### ③ 大階段


大規模イベント時は、2階の観客席に直接アクセスできる。

 大階段下のスペースにちょっとした工夫

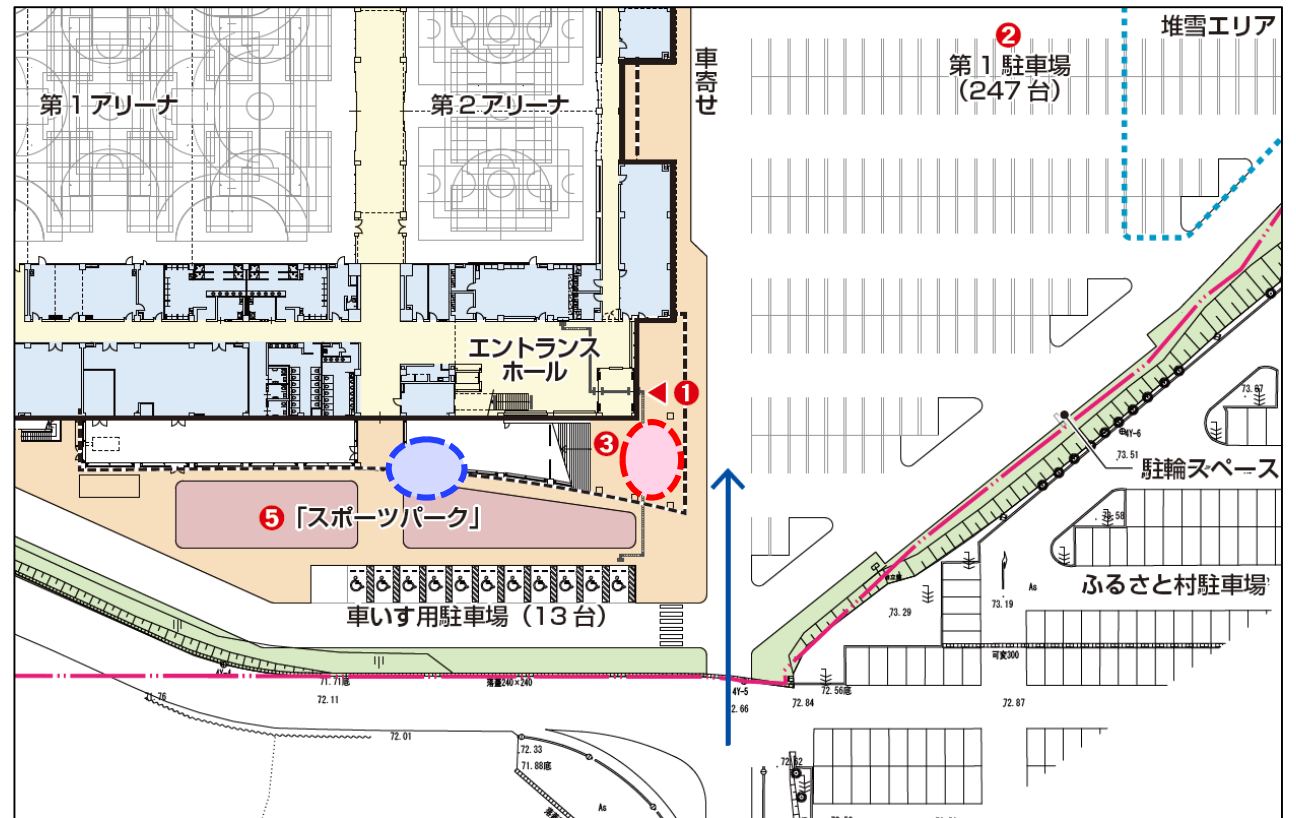
大階段の下は大屋根で雨をしのげる場所。鏡のように反射するガラスを壁面に設置することで、ダンスの練習もできるスペースに。

### ⑤ 滞留・野外活動スペース (スポーツパーク)

誰もが気軽に体を動かすことができる屋外運動スペース。イベント時には大人数の滞留場所や飲食ブース等の設置場所としても活用。

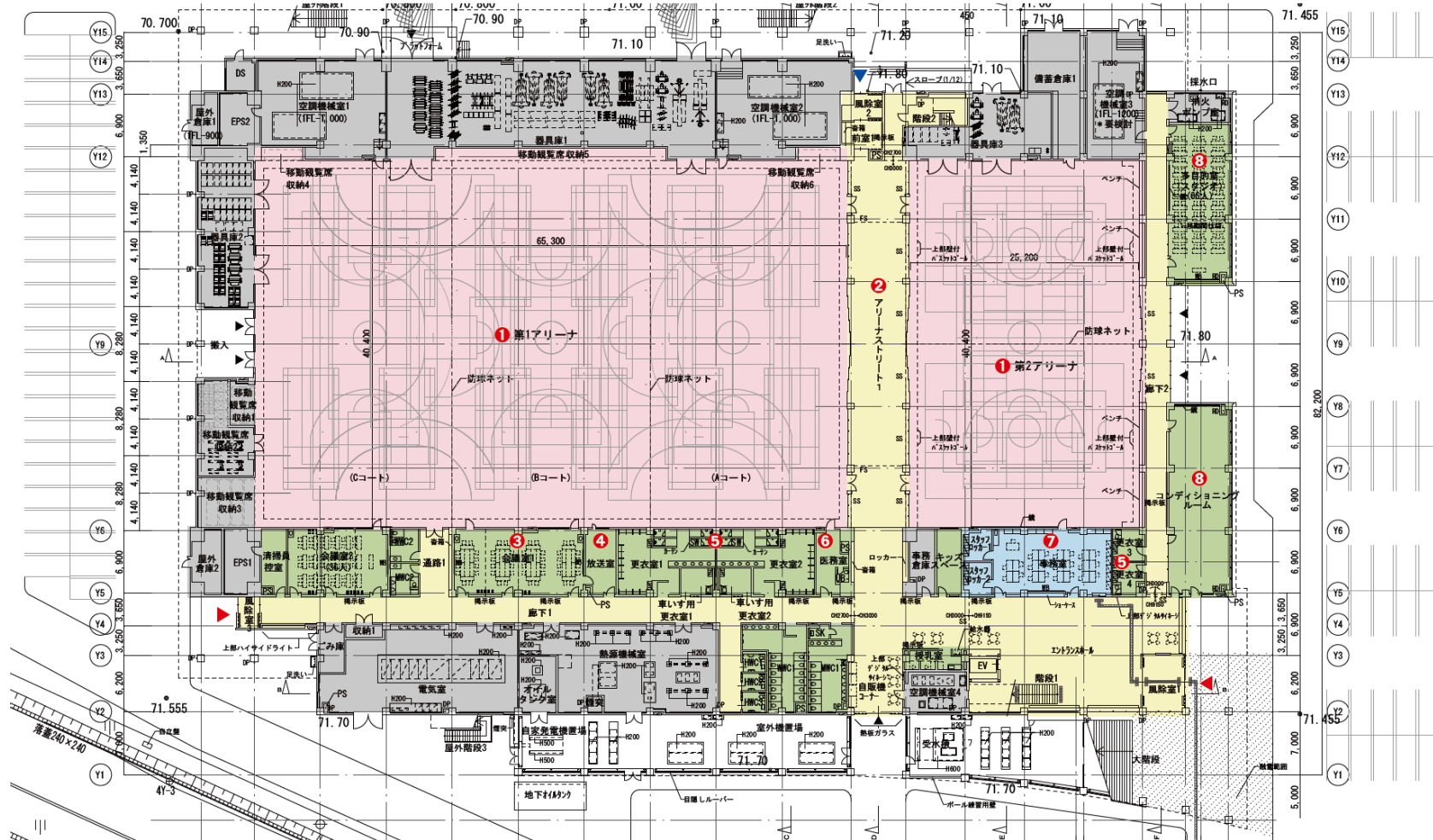
 西側の一部壁面にちょっとした工夫

ボールをぶつけても良い壁を設置。1人でもボールを使った練習ができる。

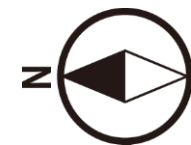


# 4. 平面計画・1階

(概要版資料5ページ「4. 平面計画」)



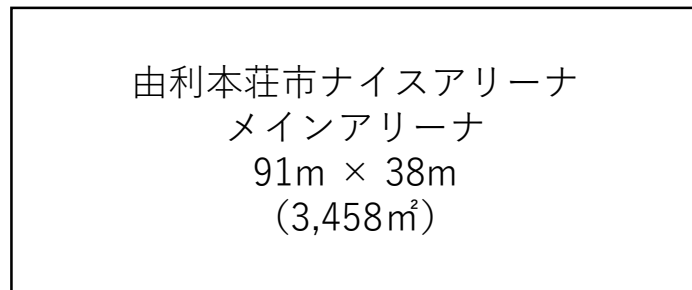
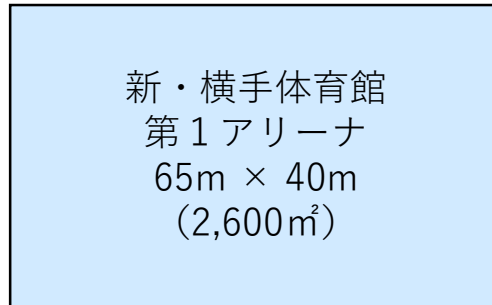
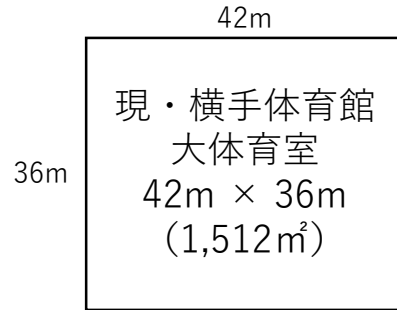
1階平面図



(概要版資料5ページ「4. 平面計画」の補足資料)

## ■第1アリーナ

広さ：65m×40m (2,600㎡)

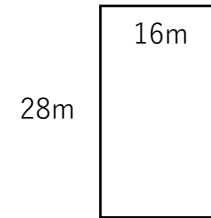


類似施設)

- ・秋田市立体育館メインアリーナ 63.5m×40m
- ・仙台市体育館第一競技場 65.9m×40.1m
- ・大館市樹海体育館メインアリーナ 63m×38m

## ■第2アリーナ

広さ：25m×40m (1,000㎡)



現・横手体育館  
中体育室  
16m×28m  
(448㎡)

バスケットボールコート  
のライン寸法とほぼ同じ。  
エンドラインとサイドラ  
インが壁の状態。



新・横手体育館  
第2アリーナ  
25m×40m  
(1,000㎡)

充実した第2アリーナ  
・大会時の公式コート  
・分割貸しで普段使い  
の利便性もアップ

参考施設)

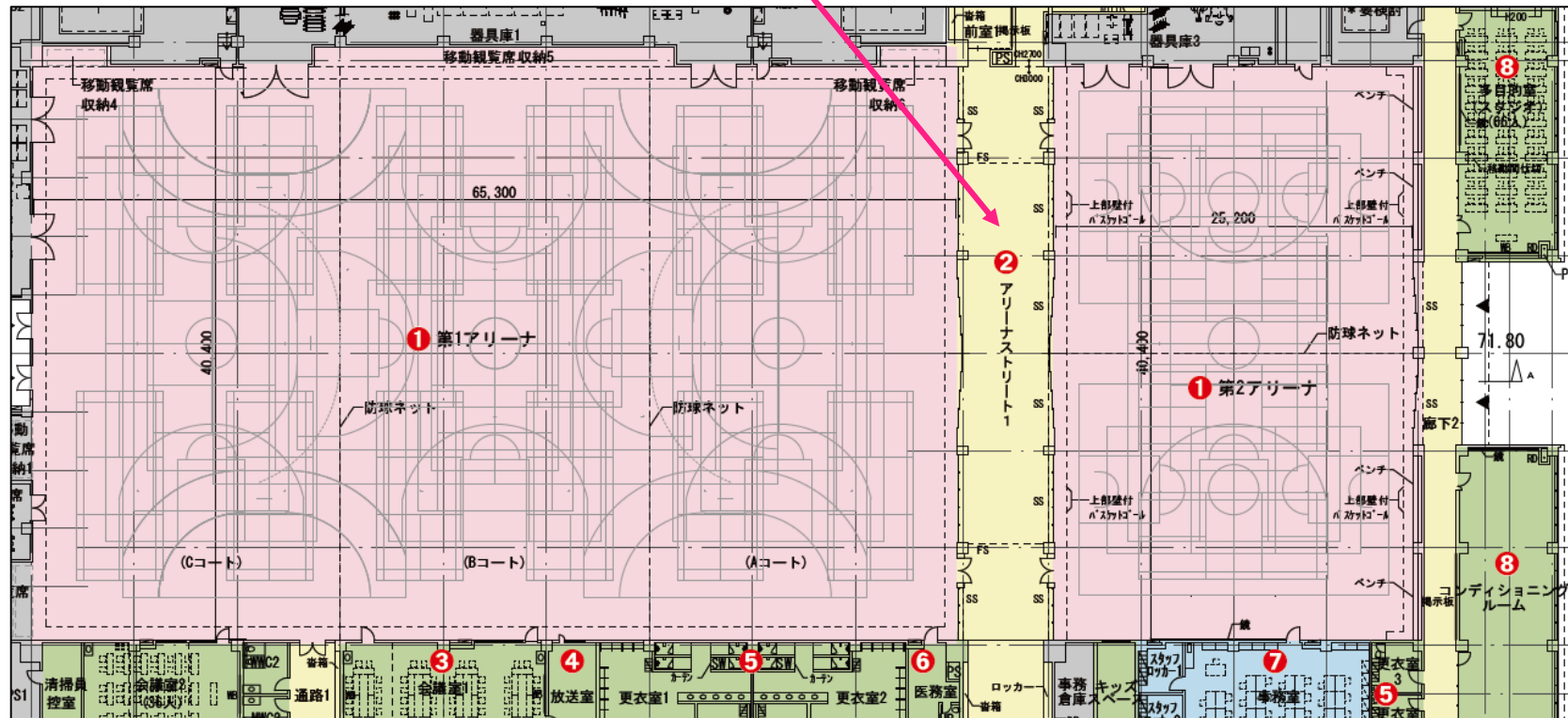
- ・秋田市立体育館サブアリーナ 22m×38m=836㎡
- ・仙台市体育館第二競技場 23.5m×32.8m=770.8㎡
- ・大館市樹海体育館メインアリーナ 20m×33m=660㎡
- ・ナイスアリーナサブアリーナ 20m×32m=640㎡

(概要版資料5ページ「4. 平面計画」)

## ■アリーナ周辺機能の主な内容

### ② アリーナストリート

選手のアップスペースとして利用できるほか、大会本部の設置スペースとしても利用できる。  
壁を開放することで第1・第2アリーナを一体的に利用できる。

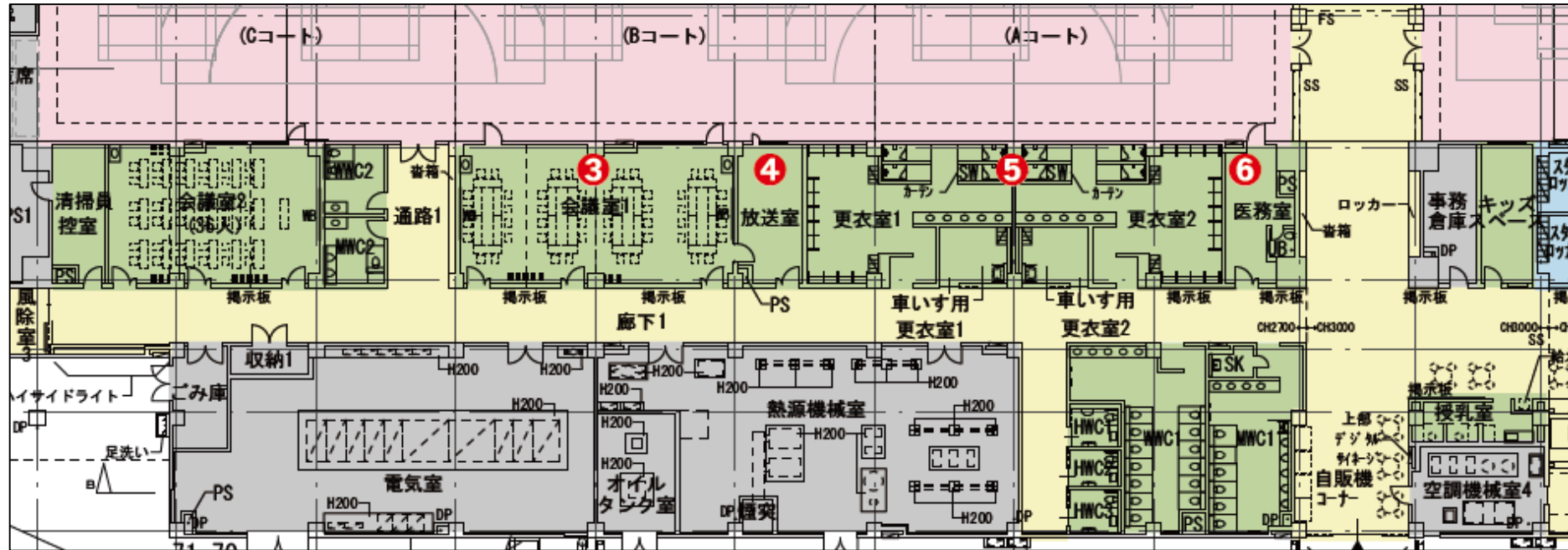


1階平面図

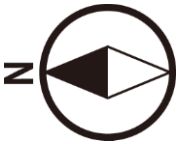


(概要版資料5ページ「4. 平面計画」)

## ■アリーナ周辺機能の主な内容



1階平面図



### ③ 会議室 1・2

第1アリーナ全体の見通しが良い位置に配置。大会本部室や審判控室等としても利用できる。

### ⑤ 更衣室

両アリーナから近い場所に配置。トイレにも隣接している。一般利用とスポーツ興行の両方に対応できる設えとする。

### ④ 放送室

会議室1に隣接して配置。

### ⑥ 医務室

両アリーナから近く搬送しやすい配置。

1階トイレ



(概要版資料5ページ「4. 平面計画」)

## ■アリーナ周辺機能の主な内容

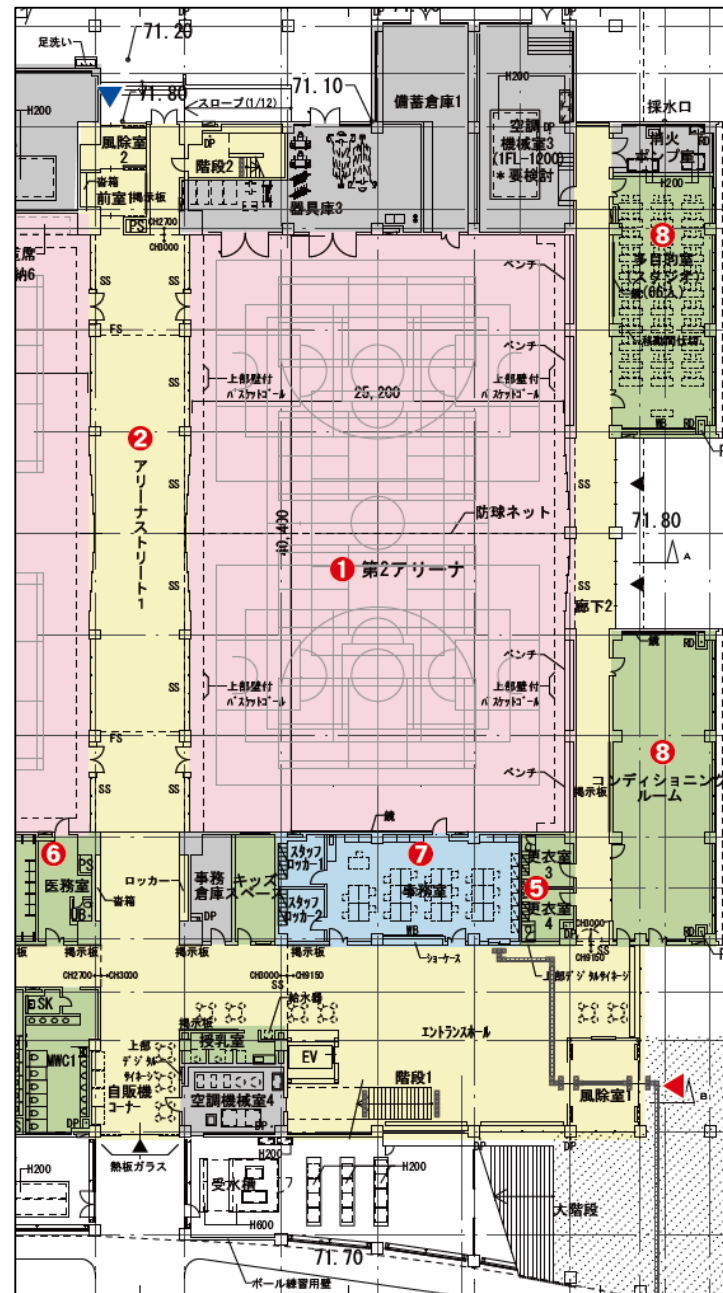
### ⑦ 事務室

### ⑧ 多目的室 (スタジオ)

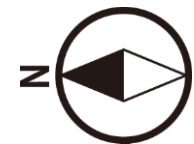
壁面に鏡を設置し、ダンスや体操など、多目的に利用できる部屋。会議室としても利用でき、分割もできる。災害時は要配慮者に対応できるスペース。

### ⑧ コンディショニングルーム

一般の人からアスリートまで、子どもから高齢者まで幅広く対応できるトレーニングスペース。健康の駅トレーニングセンターや民間のフィットネスクラブとの棲み分けを考慮した内容を検討中。

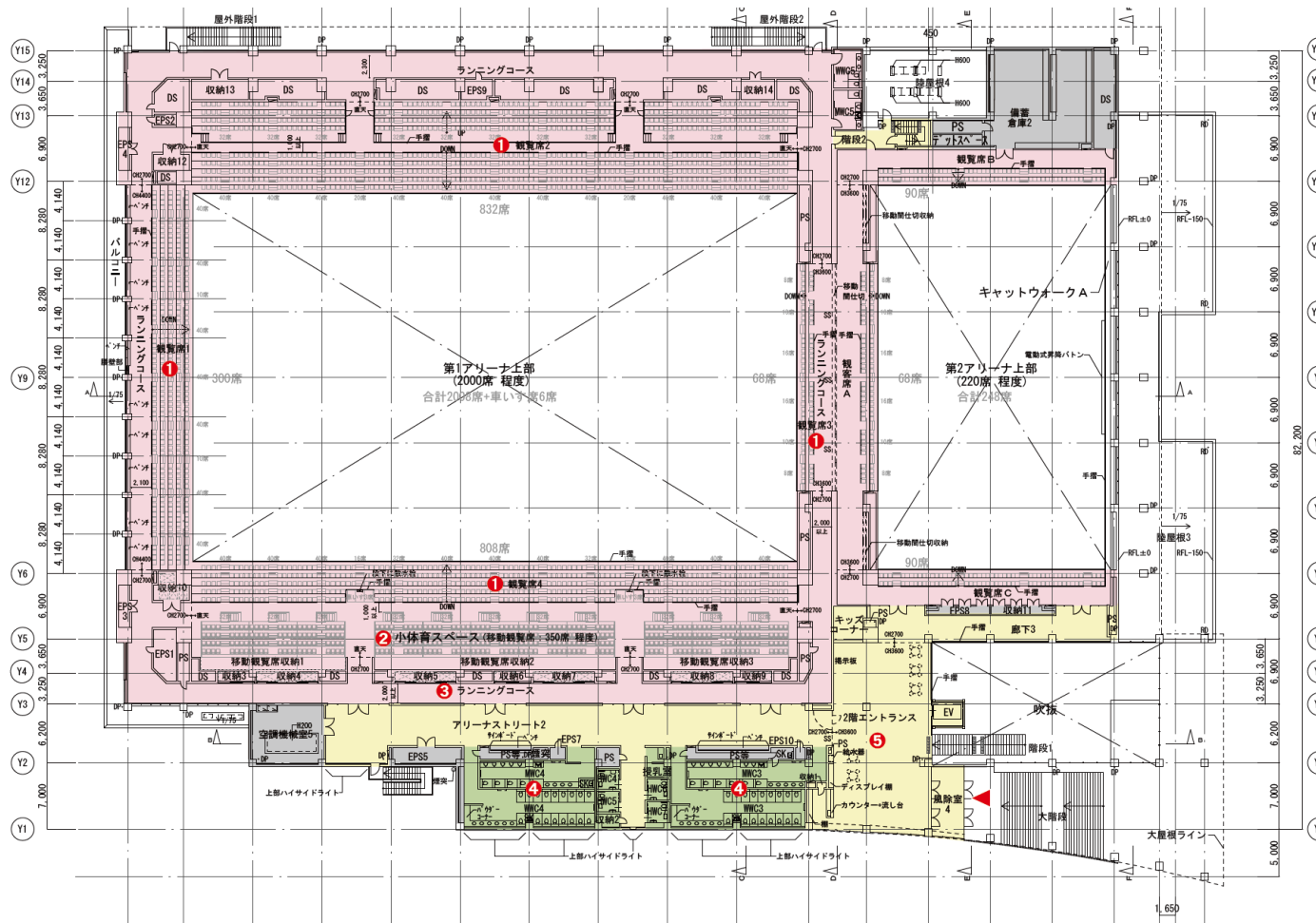


1階平面図

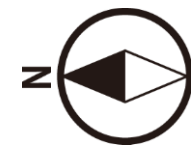


# 4. 平面計画・2階

(概要版資料6ページ「4. 平面計画」の続き)



2階平面図



(概要版資料6ページ「4. 平面計画」)

2階・東側トイレ

## ■ 第1アリーナ周辺

2階平面図



### ① 第1アリーナ観客席

第1アリーナを囲むように2,000席以上を配置。

- ・一般 2,008席
- ・車いす席 6席

### ② 小体育スペース

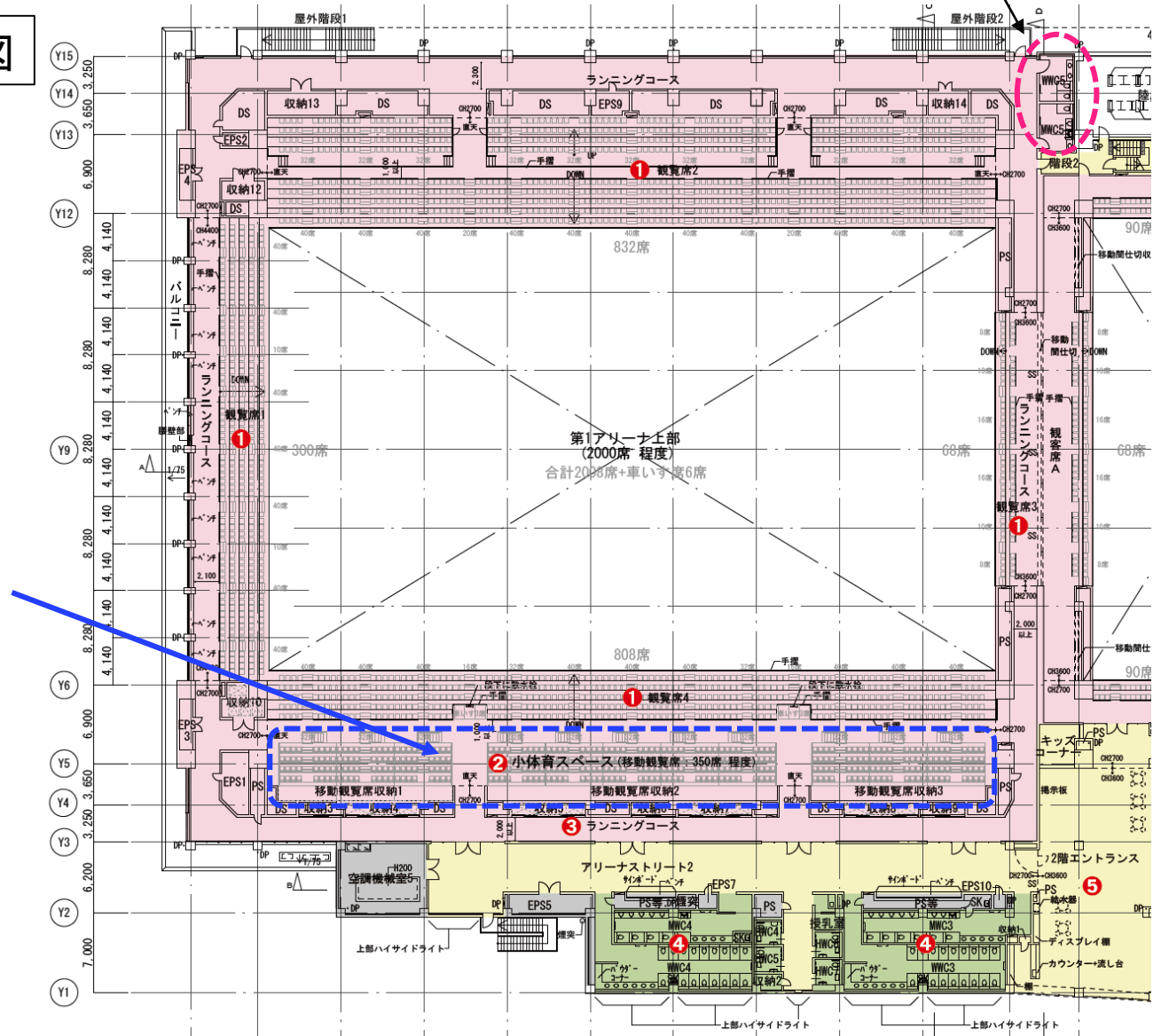
第1アリーナの2階すべてを観客席として利用する頻度は少ないため、①の2,008席の観客席のうち西側の後列(約350席分)は格納できるように移動観覧席とすることで、通常時は運動スペースとして有効活用できる。

中規模大会時の待機場所、イベント時等の販促スペースなど、使い勝手の良いスペース。

### ③ ランニングコース

第1アリーナ観客席の外周部に1周・約270mのランニングコースを配置。

○ 西側トイレ (次のスライド) ・ 東側トイレ



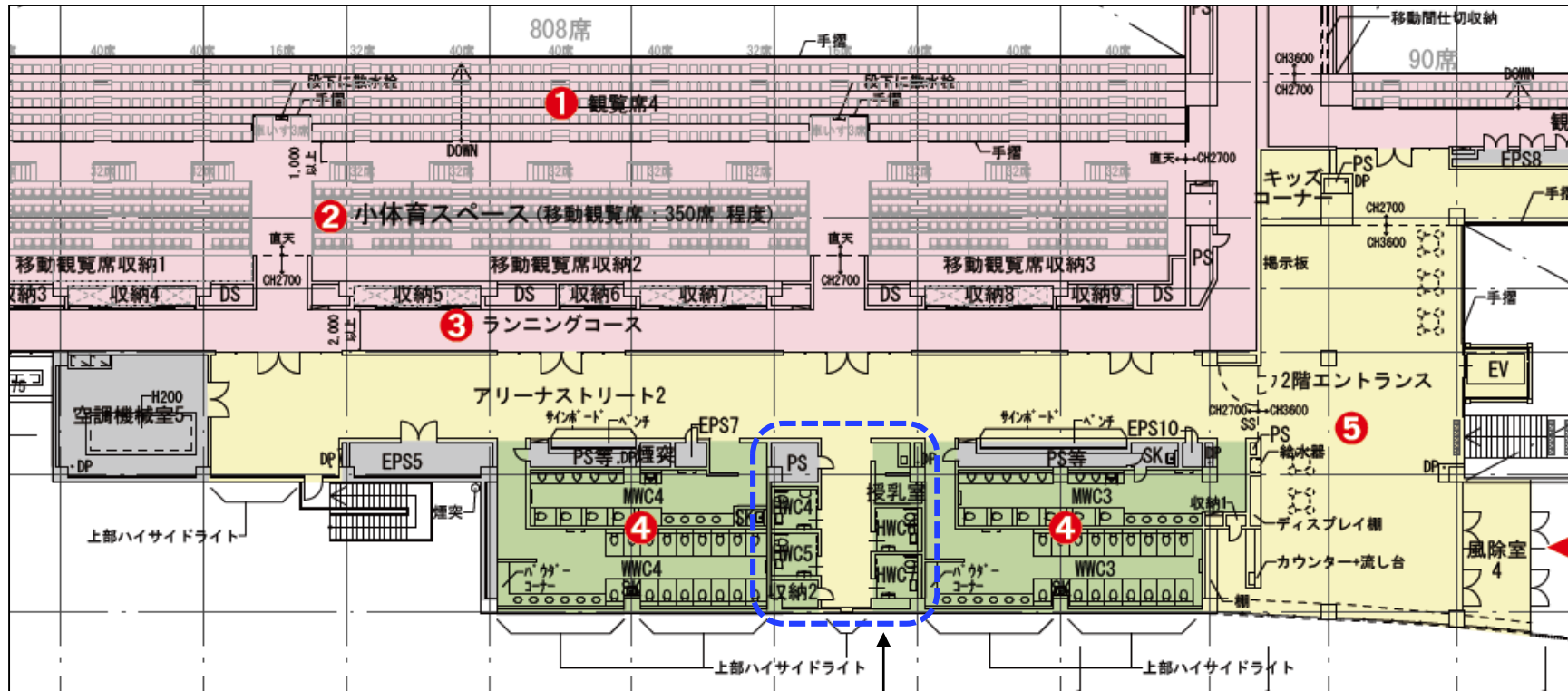
2階・西側トイレ 19

(概要版資料6ページ「4. 平面計画」)

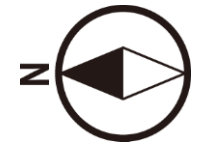
## ■第1アリーナ周辺

### ④ トイレ (2階・西側)

多目的トイレの左右に男女のトイレをそれぞれ2つずつ設置する。利用者数の想定に応じて片方を閉鎖するなど、清掃等にかかる手間や維持管理費を削減できる工夫。



2階平面図



授乳室・多目的トイレ

(概要版資料6ページ「4. 平面計画」)

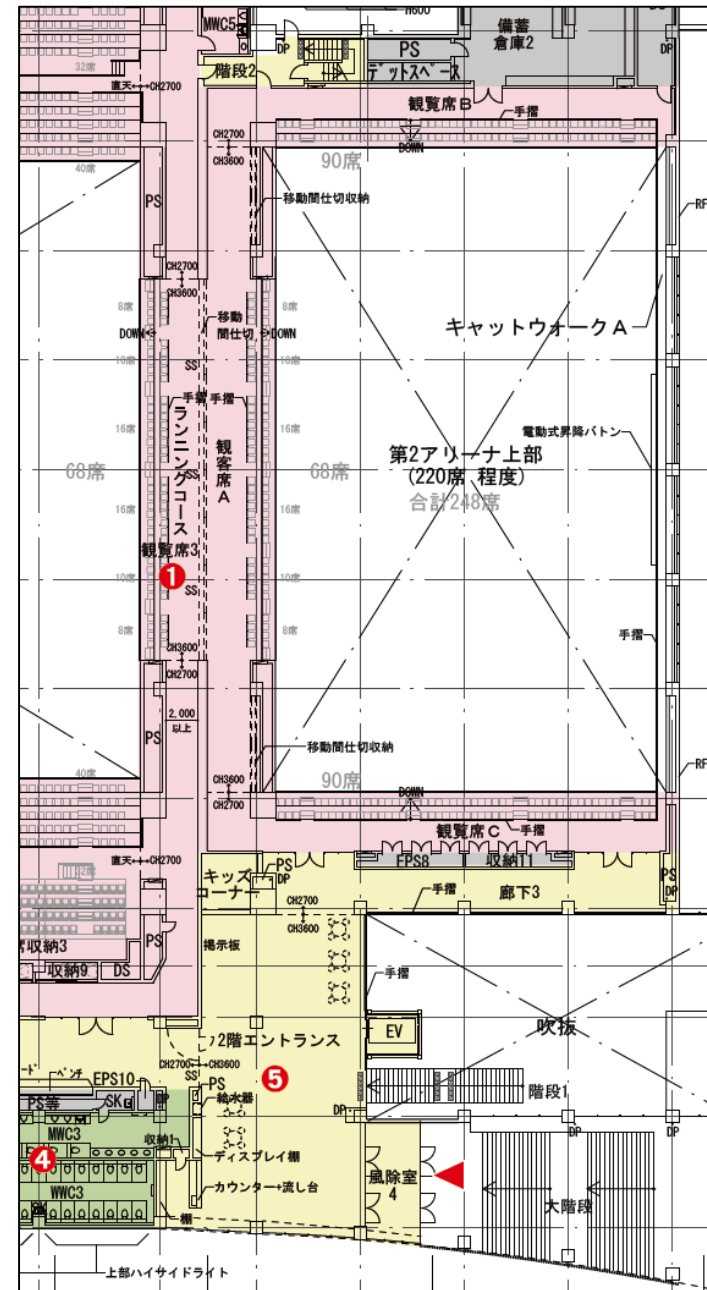
## ■第2アリーナ周辺

### ○第2アリーナ観客席

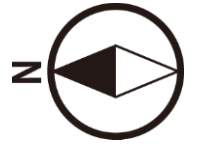
第2アリーナをコの字に囲むように248席を配置。  
観客席があることで、小規模の大会やイベントであれば、  
第2アリーナだけで十分に開催できる。

### ⑤2階エントランス


イベント時に大人数を受け入れられるエントランスホールとして整備。平常時は、市民交流スペースとしても利用できる。流しやカウンター、冷水を補充できる給水器も計画している。



2階平面図



(概要版資料5～6ページ「4. 平面計画」の補足資料)

 = 1階・移動席 (パイプ椅子等・合計2,336席相当)

## ■ 第1アリーナ全体の観客席

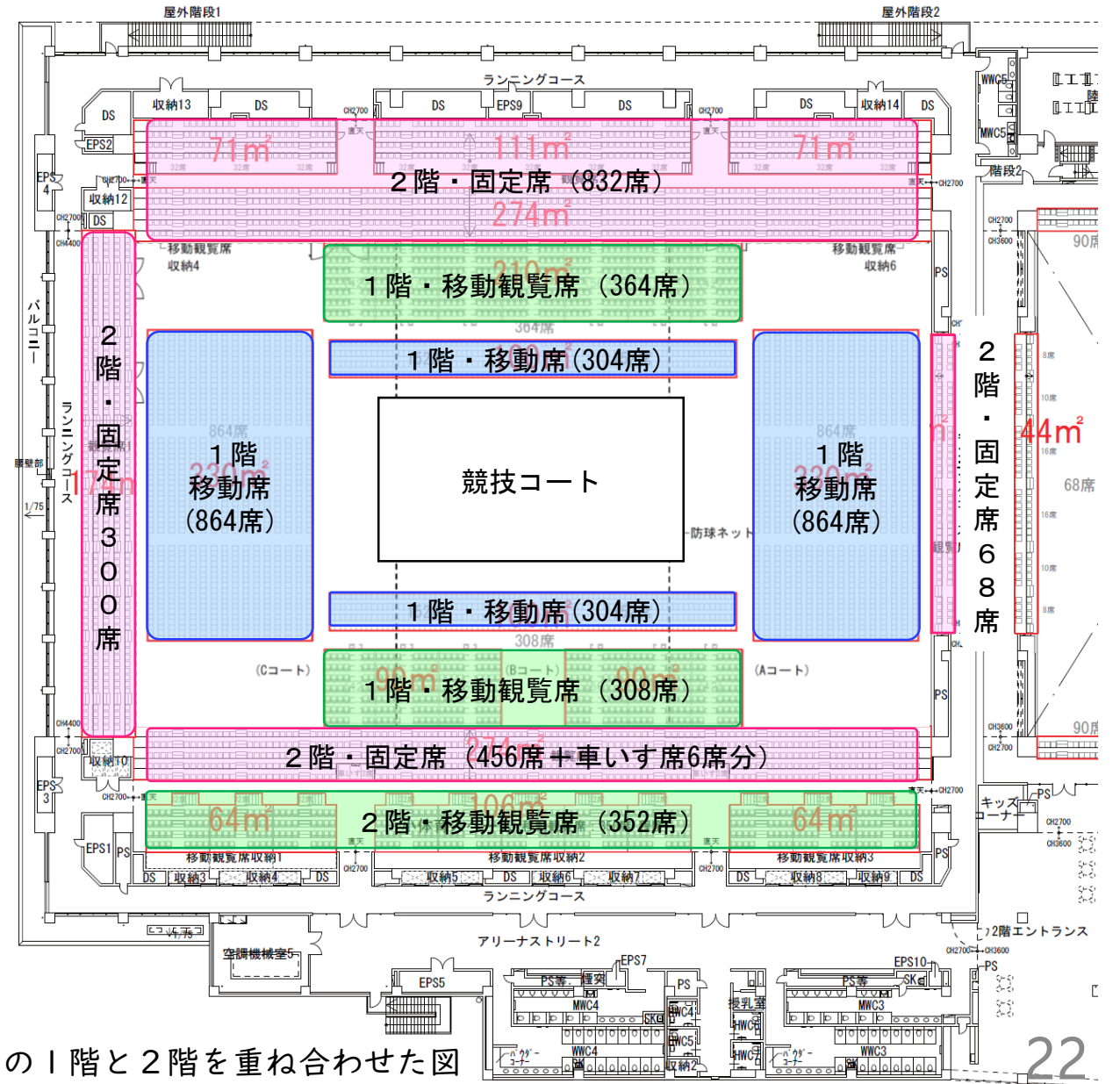
○ 座席数は約8倍の2,686席に拡充

○ 収容人数は5,000人以上

※右のレイアウトの場合

表 観客席数の数 (右のレイアウトの場合)

現・横手体育館		新・横手体育館	
区分	席数	区分	席数
2階固定席	336	2階固定席	1,656
		2階移動観覧席	352
		2階車いす席	6
1階席	0	1階移動観覧席	672
座席数合計	336	座席数合計①	2,686
		1階移動席合計②	2,336
		収容人数 (①+②)	5,022



第1アリーナの1階と2階を重ね合わせた図

# 6. 立面計画

(概要版資料 8 ページ「6. 立面計画」外観)

大階段下のスペースにちょっとした工夫 (12 関連)

大屋根で雨をしのげる場所。鏡のように反射するガラスを壁面に設置することで、ダンスの練習等もできる。



# 7. 内観イメージ

(概要版資料9ページ「7. 内観イメージ」)

## ■ 第1アリーナ

天井高は 17.93m (鉄骨下端)



第1アリーナの南北壁面に大型ビジョンを設置

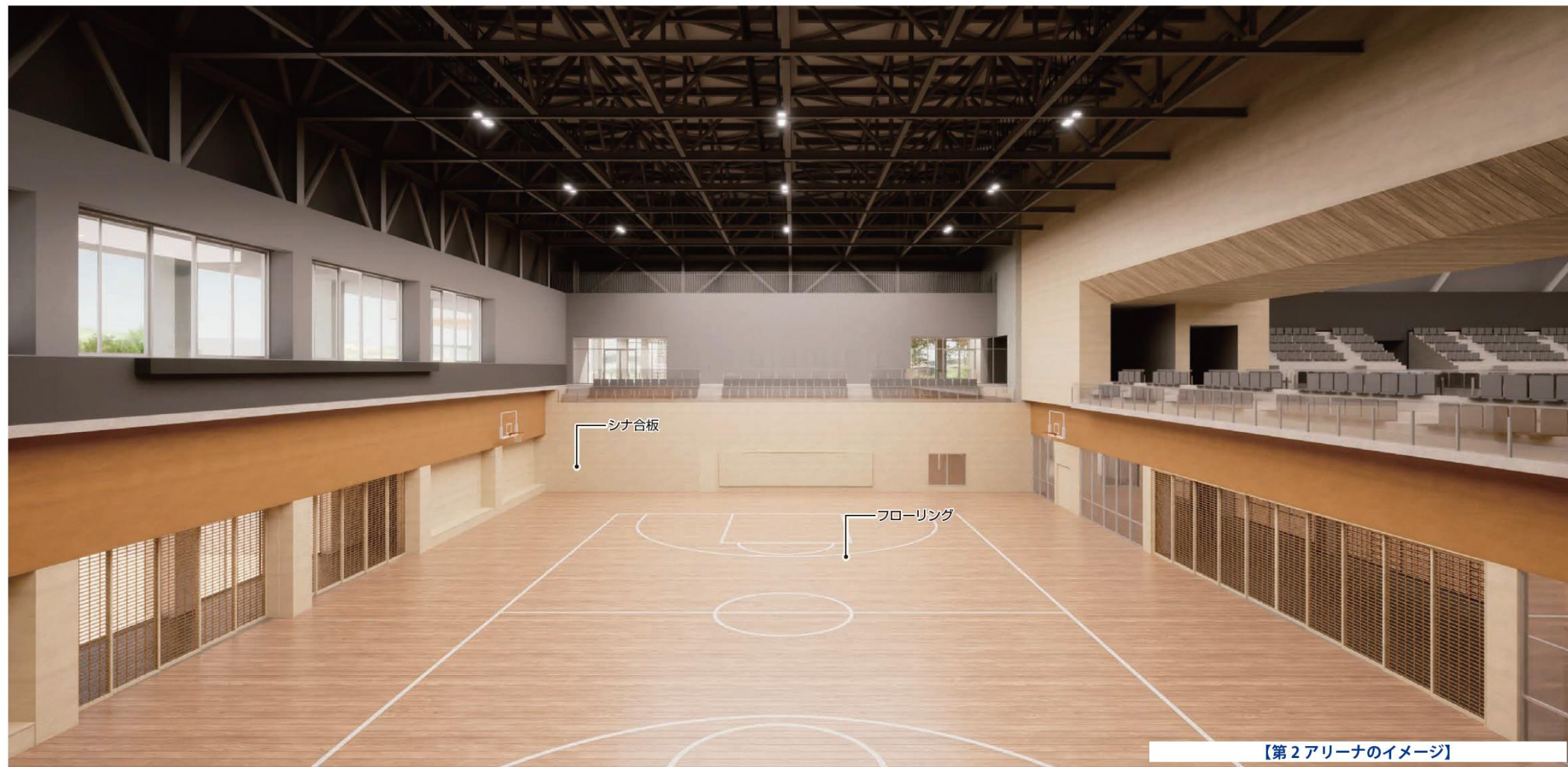
大きさ：400インチ (参考値：横幅約9m×高さ約5m)  
利用想定や頻度、各競技への影響、汎用性、天井にかかる荷重、コストなどを総合的に検討し、壁面2か所への設置を選択。大きさは文字の視認性を考慮して設定。大会や興行、式典等、様々なイベントで活用し、映像配信による効果を体感できる。





(概要版資料10ページ「7. 内観イメージ」)

## ■ 第2アリーナ



天井高は12.5m以上（鉄骨下端）

(概要版資料 11 ページ「7. 内観イメージ」)

## ■ エントランスホール

2階



1階

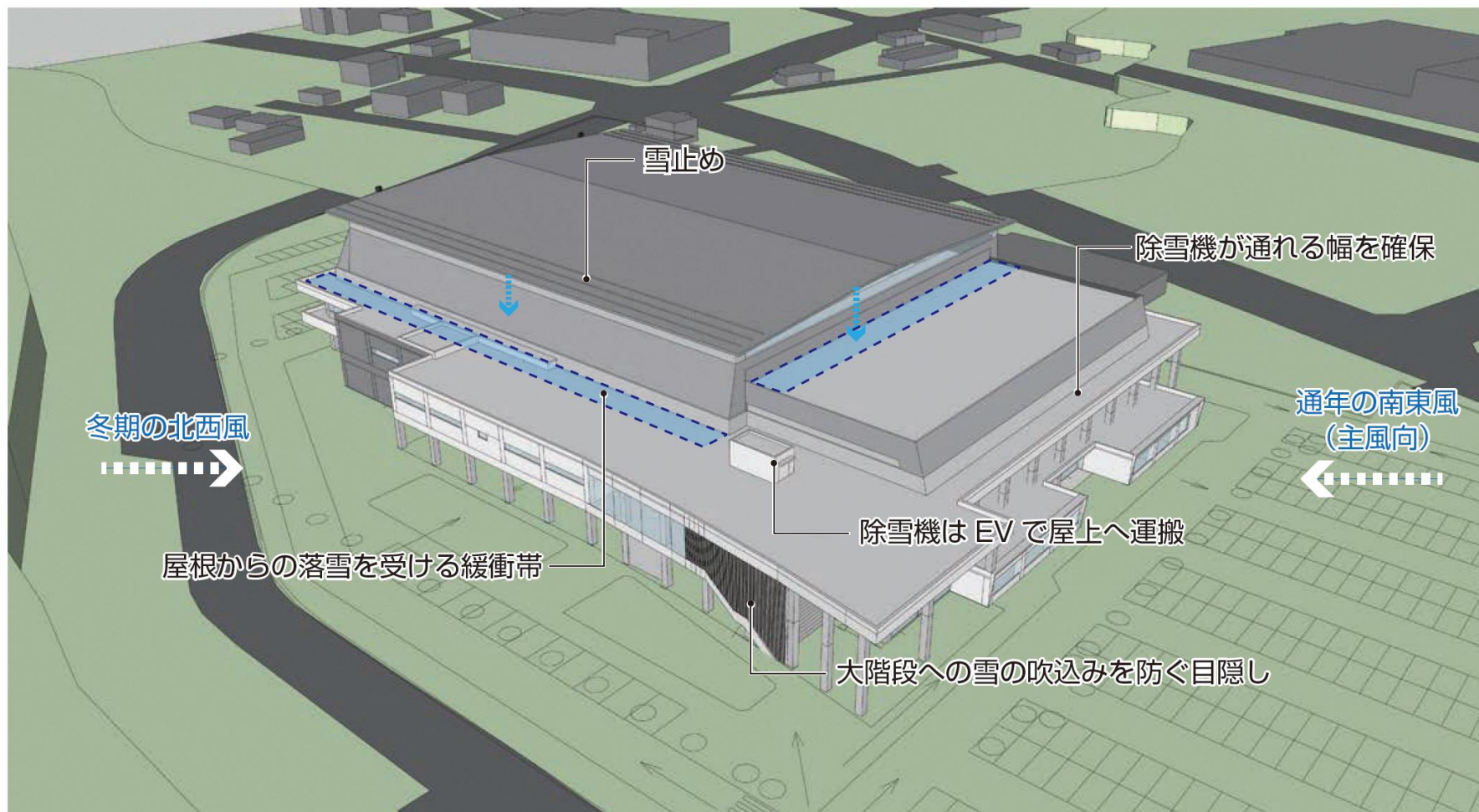


## 8. 雪対策の考え方

(概要版資料 1 2 ページ「8. 雪対策の考え方」)

雪を落とさない屋根を採用

- ・落雪の危険性を回避
- ・雪を落とした場合の除雪の手間やコストを削減
- ・雪を落とした場合と比べて駐車台数を確保しやすい



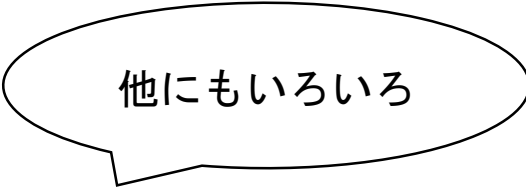
南西鳥瞰イメージ

# 最後に

## ■新しい横手体育館がオープンすれば…

### 【主な内容】

- みんなが座れる席があります。
- 夏や冬も快適に利用できます。
- 団体に所属していない人も気軽に利用できます。
- エレベーターで安心して2階に上がれます。
- 清潔できれいなトイレや更衣室を利用できます。
- 冷水を補給できる給水器が各階にあります。
- 玄関で靴を脱ぐ必要はありません。
- アリーナや一部の部屋以外は外履きのままでOKです。
- 道路を渡らなくても施設に来られる駐車場があります。
- 400インチの大型ビジョンで映像配信による効果を体感できます。
- 天候にかかわらず1周約270mのランニングコースで運動できます。
- 屋外でも気軽に運動できるスペースがあります。
- 様々な大会やイベントなどが開催できます。
- 最大5,000人を収容し、プロスポーツの観戦ができます。
- 市内外の人との交流、経済活動の活性化につながります。
- 災害時でも安全・安心な防災拠点となります。



他にもいろいろ